

全国統一要求（抜粋）

- 1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

低単価改善・過積載根絶の実現へ 全ての支部・仲間が総決起しよう



寒空の中、50名が参加して元気にチラシを配布しました（1月4日埼玉県庁）



ダンプの低単価をなくせ、元請指導の強化を訴えました（1月4日神奈川県庁）

新春宣伝行動

新春宣伝に50名参加 ビラ一八〇〇枚を配布

埼玉北部・南部

全国の仲間のみなさん、あけましておめでとう
ございます。今年もよろしくお願ひします。
昨年は、大型台風による豪雨災害や地震被害が
多く発生しました。直後から人命救助・捜索活動
や復旧・復興に向けて、地域の建設事業者やダン
プ及び建設労働者が奮闘し、改めて建設産業が果
たず役割と存在意義が社会的に認識されました。
しかし、ダンプや建設労働者の担い手不足問題
や現場業者の疲弊が改善されたわけではありませ
ん。ダンプの単価叩きや長時間労働、過積載も同
様です。大手ゼネコン各社に利益が集中する歪ん
だ産業構造を変える闘いを各地で展開しましよ

1月4日（金）、埼玉南部・
北部合同で埼玉県庁前にて
「新春宣伝行動」を行い、南
北の仲間と県本部など50名
が参加しました。
「公契約条例の制定」を強
く望むダンプの仲間の思いや
「12条団体使用促進」を訴え
たビラは、初出の出勤となる
埼玉県庁職員や埼玉県警職員
などに手渡されていきました。
毎年行っていることで、関
心も高くなり、中にはわざわざ
ぎ受け取りに来る人もいまし
た。寒風の中、早朝7時半か
ら約1時間の行動で、用意し
た一八〇〇枚のビラがすべて
配布されました。今年も仲間
の団結を強め、ダンプ労働者
の単価改善、過積載の根絶を
実現するためにガンバロウと
確認し、散会となりました。

税金相談
未加入の仲間へ声をかけ
税金相談会へ参加しよう

今年も各支部で「税金相談
会」を実施します。すでに「自
主計算書」を自宅に送ってい
ます。組合では、諸経費の計
算や記入の仕方などをアドバ
イスします。

次の物を用意して下さい。
①昨年1年間の売上額、掛か
った諸経費（ダンプ・乗用車
ローン、燃料代・タイヤ・修
理代等）②国民年金、生命保
険（介護医療用も含む）、地震
保険の支払い証明書、③奥さ
んや同居家族が働いている場
合の正確な収入額、④本人、
同居家族の医療費（領収書の
提出不要・医療費控除の明細
書にまとめる事）、などです。
平成28年分の売上げが1千万
円を超えている方は消費税を
申告する必要があります。未
加入の仲間を誘って相談会に
参加しましょう。

また、ダンプの労働実態と
要求をつかむアンケート活動
を実施しています。データは
ダンプの要求実現に向けた、
発注者・ゼネコン交渉に活か
されています。ご協力ください。

なりませぬ。当日は、昨年より
暖かく感じられる中で、ダン
プ支部5名、事業団支部8名
が参加し、ビラ六〇〇枚を初
登庁の県職員に配布しました。
その後、県土整備部技術管理
課に新年の挨拶に訪れ、キャ
ラパンパンフ50冊とチラシ
50枚ほどを渡しました。

仲間からは、「毎年の積み重
ねだけど、非正規の職員の受
け取りの悪さには心が折れる」
「県はダンプ労働者の声に
耳を貸してほしいよな」と喫
茶店で暖かいコーヒーを飲み
ながら話していました。今年
も支部一同元気に頑張る決意
です。

道内初の使用促進闘争 共同の力で大きな成果

札幌ダンプ

北海道新幹線工事で 常用単価5万円実現

札幌ダンプ支部は東北プロックとの共同闘争を位置づけて、北海道新幹線トンネル工事「二ツ森トンネル工事（札幌市）」「アブタグンク」の搬出工事で、使用促進闘争に取り組み、この度2名の就労を実現することが出来ました。

かねてより、森谷部会長の精力的なご助力・ご指導のもとで発注者及び元請交渉を進行してきた北海道新幹線トンネル工事における使用促進闘争は、札幌ダンプ支部が主体となった要求闘争の運動として

では道内初であり、今回の就労は今後の運動に大きな展望をもたらしました。昨年10月上旬、搬出土運搬についての労働条件等を交渉する現場事務所を訪問して所長との話し合いを持ちました。ここでの交渉では、「詳細な条件に関しては下請業者であるF工業と詰めてほしい」との回答を引出し、あわせてF工業との交渉が円滑に進むよう話を通してもらうことになりました。そして10月中旬にはF工業

との交渉を行い、建退共証紙の貼付や支払条件・使用台数などについて協議しました。単価は1日当たり税別で5万円、建退共証紙の支給についても合意しました。労働時間などは、現場での8時間稼働を基本とし、当初から残業が予想されていたため、残業代は30分につき三、二五円を支払うことと合意しました。また、現場側の都合で中止になった場合、午前のみ稼働したら半日分、午後まで稼働した場合、1日分の単価を支払うことと合意しました。

現場のある倶知安町は、札幌の西に位置する町で、年間平均で約10メートルの降雪量を誇る日本有数の豪雪地帯です。さらに同町は、豪雪地帯対策特別措置法で定められた「特別豪雪地帯」にも指定されており、冬間に休みなく稼働するには非常に厳しい環境にあるといえます。このような厳しい環境の中で、昨年12月に2名の仲間が就労しています。就労した仲間からは「降雪量が多いが中止になることはなく、順調に稼働している」、「現場の業者とも良好な関係を築けている」との声が上がっています。

さらに「今後、降雪に関する心配はあるものの、現場の就労環境は良好で特に不満はない」と好感触でした。今後も、札幌ダンプ支部は就労した仲間のサポートに努めることにしています。

現在、北海道内におけるダンプ労働者の単価は、1時間あたり4千円前後の場合が多く、1日働いたとしても3万2千円程度にしかありません。また、時間単価での稼働となるため、長時間の労働をしなければダンプを維持し、生計を立てることが出来ない現状にあります。こうした状況を変えていくためにも、今回の使用促進運動を足掛かりに、地場単価の引き上げをめざしてゼネコン要請を強めていくことにしています。

運動の総括と次年度方針案が提案・論議され、議案すべてが満場一致で可決成立しました。



北海道内で初の成果に確信を持ち、さらなる奮闘を決意しました。(11月18日札幌ダンプ支部定期大会)



使用促進闘争で奮闘し、仲間を増やす活動に全力で取り組みます。(11月25日秋田県秋田市内)

現在、北海道内におけるダンプ労働者の単価は、1時間あたり4千円前後の場合が多く、1日働いたとしても3万2千円程度にしかありません。また、時間単価での稼働となるため、長時間の労働をしなければダンプを維持し、生計を立てることが出来ない現状にあります。こうした状況を変えていくためにも、今回の使用促進運動を足掛かりに、地場単価の引き上げをめざしてゼネコン要請を強めていくことにしています。

使用促進闘争の学習会実施
拡大を全力で取り組もう
二〇一八年十一月二十五日(日)、秋田市のサンライフ秋田で秋田ダンプ支部第31回定期大会が開催されました。県本部の石塚委員長、青森ダンプ、福島ダンプから連帯のあいさつ

をいただきました。ダンプ・建設労働者の労働条件改善を取り組んできた1年の活動報告、決算報告と今後1年間の方針と予算の提案が行われました。大会は提案された議案を満場一致で採択し、要求実現、組織拡大に奮闘しようという決意を固めました。新しく委員長には現場の高橋副委員長が、空白となっていた書記長には専従の田中委員長が就(つ)くことになりました。

次年度の重点方針として、①一四〇人の支部建設のための組織拡大推進、②東海4県での行政・発注当局への単価・労働条件改善要請行動の強化、③職場闘争と使用促進闘争の強化推進、④共催活動の強化を推進していくことが決定され、二〇一九年の1年間で仲間の力を結集して進めていくことを決意しました。



要求闘争に全力で取り組み、組合員拡大で奮闘します。(1月5日愛知県西尾市内)

役員体制
執行委員長 野川 正一
副委員長 荒木 利彦
書記長 高橋 立顯

役員体制
執行委員長 高橋 正彦
書記長 田中喜三男

役員体制
執行委員長 高橋 正彦
書記長 田中喜三男

役員体制
執行委員長 高橋 正彦
書記長 田中喜三男

役員体制
執行委員長 高橋 正彦
書記長 田中喜三男

役員体制
執行委員長 高橋 正彦
書記長 田中喜三男